

**RefWorks**  
基本ワークブック

## はじめに

このワークブックは、**CSA** トレーニングスペシャリスト、マイケル・ウォーカーによって作成されたもので、**RefWorks** の基本的な機能を学習いただけます。

また、トレーニング後の配布資料としても、自主学習用に **RefWorks** チュートリアルのガイドブックとしてもご利用いただけます。

## RefWorks : 基本ワークブック

### Task 1 アカウントを作成する

1. ブラウザから [www.refworks.com/refworks](http://www.refworks.com/refworks) にアクセスします（または、所属機関や大学の Web ページのリンクをクリックしてアクセスすることもできます）。
2. 「個人アカウントの作成」をクリックします。
3. 必要な情報を入力します。
4. 「登録する」をクリックします。
5. 「おめでとうございます。RefWorks アカウントが登録されました!」という画面が表示されます。表示されましたらアカウントの作成は終了です。ブラウザを閉じます。
6. ブラウザを開いて、[www.refworks.com/refworks](http://www.refworks.com/refworks) に戻り、新たに登録されたログイン名とパスワードで自分のアカウントにログインします。

### Task 2 Google Scholar からのダイレクトインポート (<http://scholar.google.com>)

1. Google Scholar でオプション設定が利用できるようにクッキーを有効にしてください。
2. Google Scholar 検索画面で、「Scholar 設定」をクリックします。
3. 表示された画面の下部にある文献管理の項目で、「文献取り込みリンクを表示する」で、「RefWorks」を選択し、オプションの設定を保存します。
4. これで検索結果に「RefWorks に取り込む」リンクが表示されるので、**Behavior**（行動）を検索語に指定して検索を実行し、最初のレコードをエクスポートします。



注意：Google Scholar からインポートできるレコードは一度に1つだけです。RefWorks にインポートされたレコードは、□編集モードで開きます。

注意：検索結果には、表題、著者、出版年などのデータは表示されずに、URL のみが表示される場合があります。書誌情報がある場合は、RefWorks にインポートされません。

### Task 3 EBSCOHost からのダイレクトインポート

注意：この練習では他のベンダーを選択することもできます。ダイレクトエクスポートに対応可能なベンダーの一覧は次のサイトで確認できます：

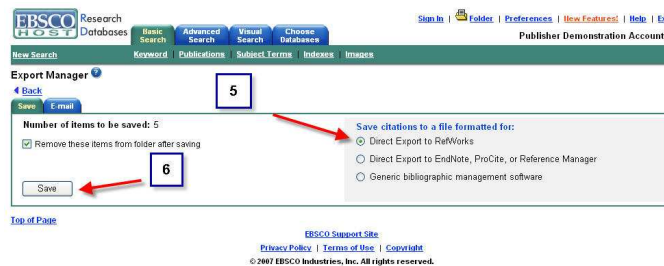
[http://www.refworks.com/content/products/direct\\_export.asp](http://www.refworks.com/content/products/direct_export.asp)。特定のベンダーの利用方法については、RefWorks オンラインヘルプを参照してください。

## RefWorks ユーザーワークブック

1. 検索対象の EBSCO データベースを選択したら、**Influenza** について検索を実行します。
2. 複数のレコードをインポートするには、追加するレコードの右側の「Add(追加)」リンクをクリックします。
3. 「**Folder has Items (フォルダにデータがあります)**」リンクをクリックします。
4. 「**Export(エクスポート)**」をクリックします。

The image shows two screenshots of the EBSCOhost interface. The top screenshot shows search results for 'Influenza' with 114 results. Callout 1 points to the search bar, callout 2 points to the 'Add' button next to a result, and callout 3 points to the 'Folder has Items' link. The bottom screenshot shows the 'Folder Contents' page with 15 items. Callout 4 points to the 'Export' button.

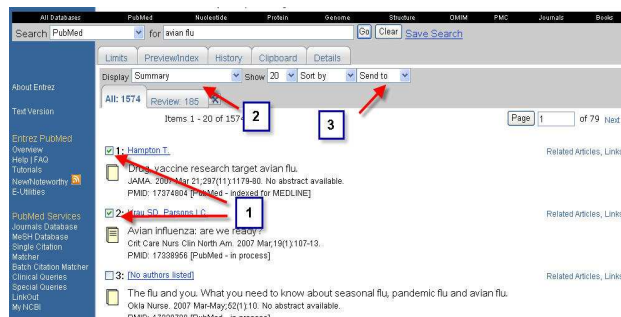
5. 「Direct Export to RefWorks」 (RefWorks へのダイレクトエクスポート) を選択します。
6. 「Save(保存)」 ボタンをクリックします。
7. インポートされたレコードは、RefWorks の「最近インポートされたレコードフォルダ」に取り込まれます。



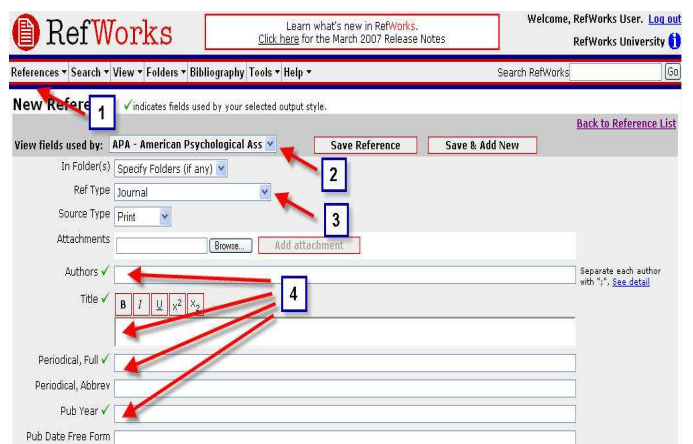
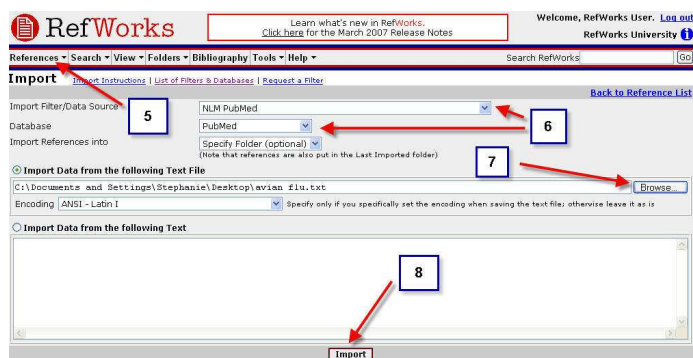
#### Task 4 保存したテキストファイルからデータをインポートする

この例では、PubMed を使用します ( <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi?db=PubMed> ) 。

1. 別のブラウザウィンドウで、PubMed を開いて、**Influenza** の検索を実行します。
2. 検索結果から、保存するレコードを選択します。該当の文献の左側にあるチェックボックスをクリックしてチェックを入れると、レコードを選択できます。
3. 「Display」 ドロップダウンリストから、「Medline」を指定します。
4. 「Send to」 ドロップダウンリストから「Text」を選択します。レコードが新しいウィンドウに表示されます。ブラウザの「名前を付けて保存」機能を使用して、ファイルを端末に保存します。「ファイルの種類」ドロップダウンリストでテキストを選択して、ファイルを保存するようにしてください。



5. RefWorks のツールバーから、「レコード」メニューの「インポート」を選択します。
6. インポートフィルター/データソースには「NLM PubMed」を、データベースは「PubMed」を選択します。
7. 「次のテキスト形式ファイルからインポートする」を選択し、「Browse」 (参照) ボタンをクリックして、端末に保存したテキストファイルを指定し、「開く」をクリックします。
8. 「インポート」をクリックします。インポートされたレコードは、「最近インポートされたレコードフォルダ」に取り込まれます。



#### Task 5 手入力で新規作成する

1. 「レコード」の「新規作成」を選択します。

**Task 6** 「出力フォーマットを選択」のドロップダウンリストから **APA in AccuCite** を選択します。

1. 資料タイプに「ジャーナル」を選択します。

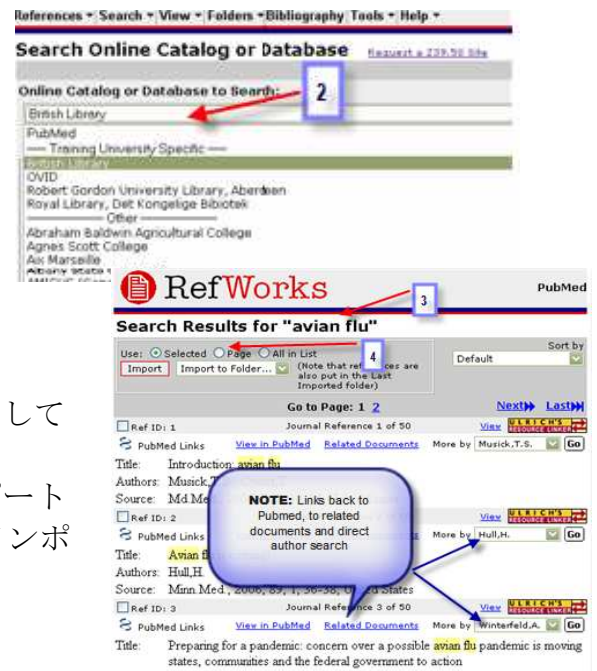
2. ✓の付いたすべてのフィールドに値を入力します  
(この出力フォーマットで引用を正しく出力するために必要なフィールド)。

3. 「著者」、「表題」、「キーワード」のフィールドのドロップダウンボックスを使用して、レコード検索で見つかったエントリを選択します。

4. レコードを「保存する」か、「保存&新規追加」ボタンを選択してレコードを追加します。

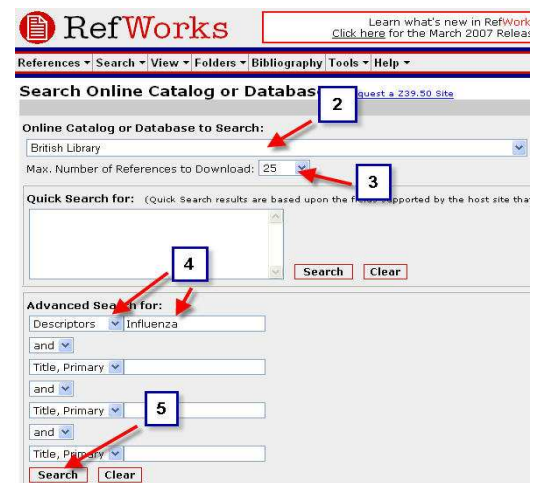
### Task 7 z39.50 データベース (PubMed) を検索する

1. 「検索」から「オンラインカタログ・データベース」をクリックします。
2. 「オンラインデータベース」ドロップダウンリストから「Pubmed」を選択します。
3. 「クイック検索」のボックスに□avian flu を入力して検索を実行します。
4. □ページに表示されたすべてのレコードをインポートするには、「ページ上のレコード」を選択し、「インポート」ボタンをクリックします。
5. 検索結果ページを閉じて、RefWorksに戻ります。



### Task 8 図書館カタログを検索する。

1. 「検索」から「オンラインカタログ・データベース」をクリックします。
2. 「オンライン・データベース」のアルファベット順のドロップダウンリストから図書館カタログを選択します。
3. 検索するレコードの上限は 25 に設定します。
4. 「キーワード」に **Influenza** を入力して、**詳細検索**を実行します。
5. ページに表示されたすべてのレコードをインポートするには、「ページ上のレコード」を選択し、
6. 検索結果ページを閉じて、RefWorksに戻ります。



「インポート」ボタンをクリック

### Task 9 フォルダの作成とデータの移動



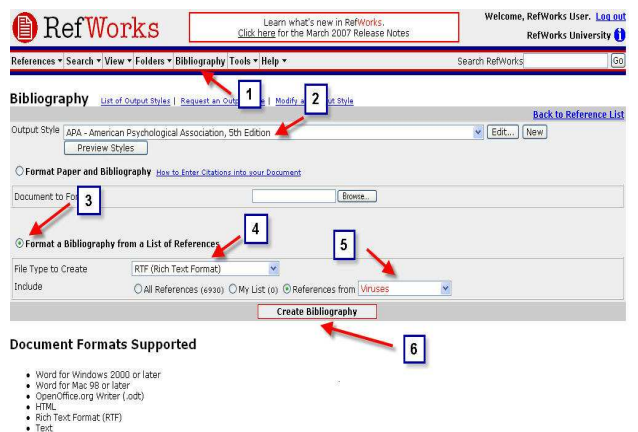
## RefWorks ユーザーワークブック

1. [フォルダ] から「フォルダの管理」をクリックしてから、「フォルダの新規作成」をクリックします。
2. フォルダ名を **Viruses** にして、「OK」をクリックします。
3. **Behaviors** というフォルダをもう 1 つ作成します。
4. データの移動ですが RefWorks のクイック検索で、  
**Task 10 flu** をキーワードにして検索を実行します。
  1. 「すべてのレコード」を選択します。
  2. 「フォルダへ追加」から **Viruses** フォルダを選択し、**Task 11** データを移動します。
1. RefWorks のクイック検索で、**behavior** を  
**Task 12** キーワードにして検索を実行します。
  1. 「すべてのレコード」を選択し、「フォルダへ追加」から  
**Task 13 Behaviors** フォルダを選択しデータを移動します。



## Task 14 お気に入りの出力フォーマットでレコードリストを作成する

1. RefWorks のツールバーで、「参考文献」をクリックします。
2. **APA – American Psychological Association, 5<sup>th</sup> Edition** を出力フォーマットとして選択します。
3. 「レコード一覧から生成」ラジオボタンをオンにします。
4. 「ファイル形式」に **RTF** (リッチテキスト形式) を指定します。
5. 「フォルダ内のレコード」ドロップダウンリストから **Viruses** を選択します。
6. 「参考文献の生成」をクリックします。



適切にフォーマット化されたレコードのリストが **RTF** 形式で作成されるので、必要に応じて保存、印刷、メール送信することができます。

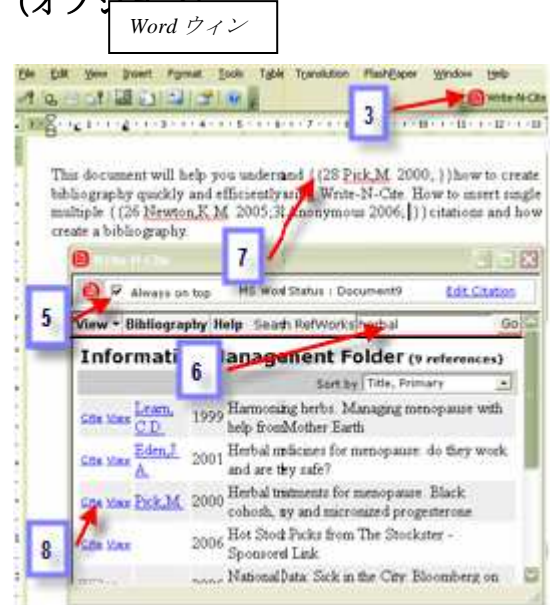
## Task 15 Write n Cite v.2 を使用して参考文献を生成する (オプション)

**注意:** この練習では、Write-N-Cite v.2 をダウンロードし、インストールする必要があります。

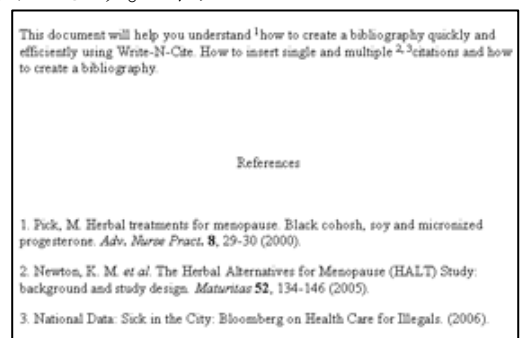
1. RefWorks からログアウトします。
2. **Microsoft Word** を開いて、次のテキストを入力します。

このドキュメントでは、Write-N-Cite III を使用して参考文献を迅速かつ効率的に生成する方法や引用の挿入方法について説明します。

3. Word のツールバーから「**Write-N-Cite**」を選択するか、Word の「**ツール**」メニューから「**Write-N-Cite**」を選択して、Write-N-Cite プラグインを起動します。
4. RefWorks データベースにログインします。
5. 「Always on top(常に上部に表示)」を選択して、Write-N-Cite が見えるようにします。
6. **flu** をキーワードにして、**クイック検索**を実行します。
7. Word 文書で、**引用を挿入したい位置**にカーソルを置きます。
8. Write-N-Cite の画面に戻って、引用したいレコードの隣にある「**引用する**」リンクをクリックします。
9. Word 文書に戻って、論文の作成を続け、さらに引用を追加します。同一のグループ内で複数の引用 (複数のソースの引用) を挿入することができます。
10. Word 文書ファイルに **Rwcite** という名前を付けて端末に保存します (「ファイル」の「名前を付けて保存」)。
11. Write-N-Cite 画面に戻って、「**参考文献**」をクリックし、出力フォーマットに **Nature** を選択します。



Write n Cite ウィンド



12. これで、**Final-RWcite** という名前の別の文書が作成されます。文書に **RWCiteNature** という名前を付けたら、フォーマット化された論文を閉じます
13. 別の出力フォーマットを選択して、参考文献の生成を繰り返し行います。新たに選択した出力フォーマットで **FinalRWcite** という文書が
- Task 16** 作成されます。 **RWCite<ファイル形式>** という名前を

サンプル□：最終的に引用と参考文献リストが適切にフォーマット化された文書

**注意：**文書の作成と編集は常に元の **Word** 文書で行うようにしてください（フォーマットの種類を好きなだけ選択して、でさまざま作成段階の文書を最終文書として保存できます。）

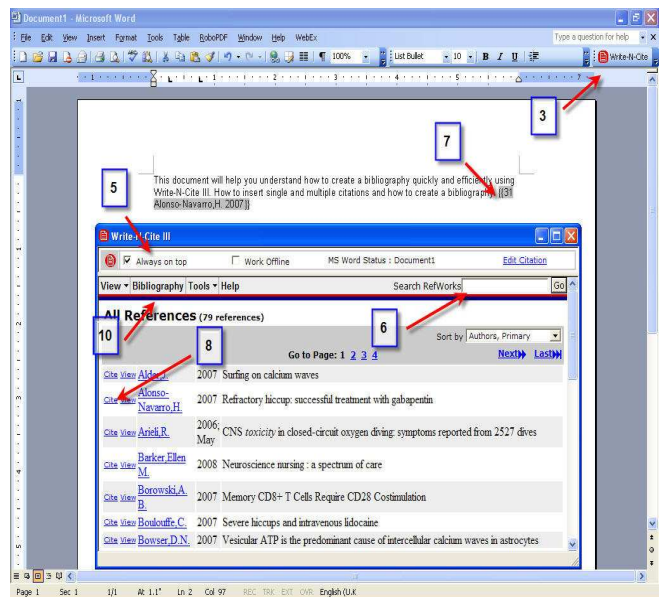
### **Task 17** Write-N-Cite III for Windows を使用して参考文献を生成する（オプション）

**注意：**この練習では、Write-N-Cite III for Windows をダウンロードし、インストールする必要があります。

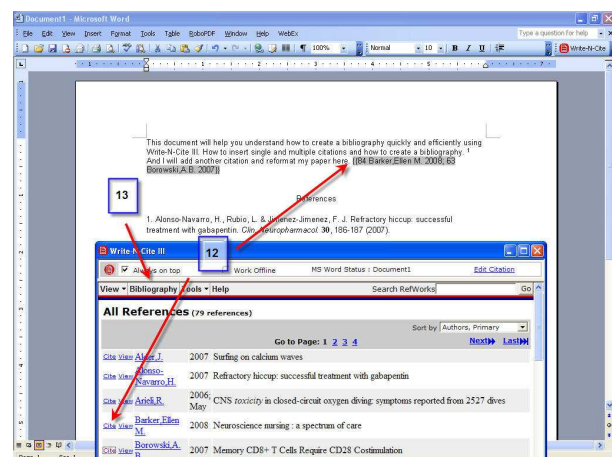
1. RefWorks からログアウトします。
2. **Microsoft Word** を開いて、次のテキストを入力します。

このドキュメントでは、Write-N-Cite を使用して参考文献を迅速かつ効率的に生成する方法や引用の挿入方法について説明します。

3. Word のツールバーから「**Write-N-Cite III**」を選択するか、デスクトップアイコンをクリックして Write-N-Cite プラグインを立ち上げます。
4. RefWorks データベースにログインします。
5. 「Always on top（常に上部に表示）」を選択して、Write-N-Cite が見えるようにします。
6. **flu** をキーワードにして、**クイック検索**を実行します。
7. Word 文書で、引用を挿入したい位置にカーソルを置きます。
8. Write-N-Cite の画面に戻って、引用したいレコードの隣にある「引用する」リンクをクリックします。
9. 文書ファイルに **Rwcite** という名前を付けて端末に保存します（「ファイル」の「名前を付けて保存」）。
10. Write-N-Cite 画面に戻って、「参考文献」をクリックし、出力フォーマットに **Nature** を選択します。
11. 文書がフォーマット化されたら、保存します（「ファイル」メニューの「保存」）。

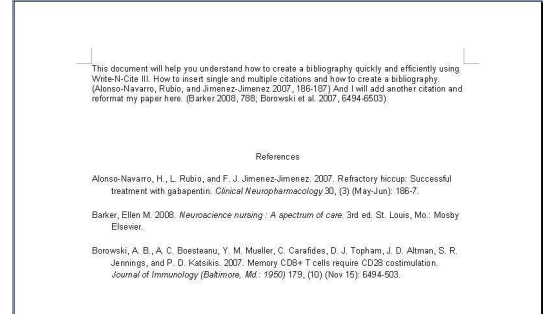


Write n Cite ウィンド



12. フォーマット化された Word 文書に戻って、論文の作成を続け、さらに引用を追加します。同一グループ内で複数の引用（複数のソースの引用）を挿入することができます。

13. Write-N-Cite III の参考文献画面で、別の出力フォーマットを選択して、参考文献の生成を繰り返し行います。新しいフォーマットで文書が再度フォーマット化されます。文書ファイルを保存します（「ファイル」の「保存」）。



サンプル□：最終的に引用と参考文献リストが適切にフォーマット化された文書

### Task 18 Write-N-Cite を使用しないで参考文献を生成する（引用ビューを使用）

1. Word を開いて、次のテキストを入力します。

この文書では、Write-N-Cite プラグインを使用しないで、参考文献を迅速かつ効率よく生成する方法を説明します（ご自分以外のパソコンや学校外の端末で作業する場合にこの方法が使用されます）。

2. RefWorks にログインします。

3. **avian flu** をキーワードにして、クイック検索を実行します。

4. 「表示方法」ドロップダウンリストから引用ビューを選択します。

5. レコードを選択し、そのレコードの「引用する」リンクをクリックします。

6. 引用を一時的に保存する RefWorks のクリップボードが開きます。

7. 「引用を選択」ボタンをクリックします。

8. 文書中で引用を挿入する位置にカーソルを置き、Word のコピー/貼り付け機能を使用して、引用を文書中に挿入します。

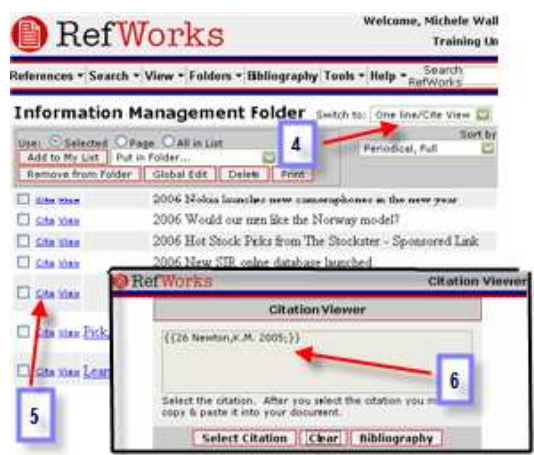
9. 前述の手順を繰り返し行えば、文書中のどこにでも引用を挿入できます（次の引用を作成する前に「引用ビュー」のクリアボタンをクリックしてください）。

10. 文書には **Avian flu** という名前を付けて、閉じます（ファイルの種類は、.doc、.odt、または.rtf にしてください）。

11. RefWorks の画面で、「参考文献」をクリックします。

12. 出力フォーマットには **JAMA** を選択します。

13. 「原稿ファイルから生成」を選択します。



14. 参照をクリックして、**フォーマット化するファイル**を指定します。
15. **参考文献の生成**をクリックします。
16. これで、適切な引用が挿入され、フォーマット化された参考文献が生成された文書がもう1つ作成されます。この文書に **Final Avian Flu** という名前を付けて保存します。